

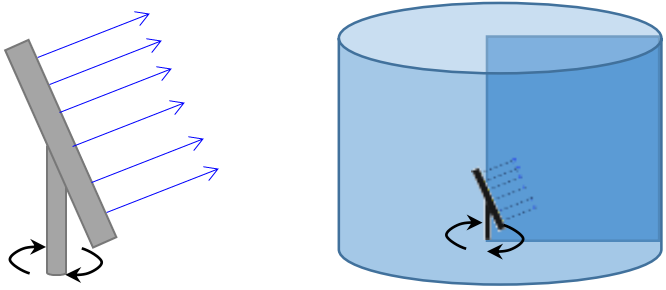
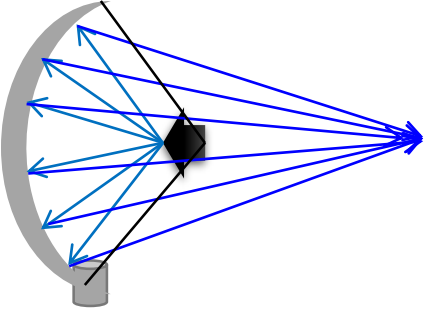
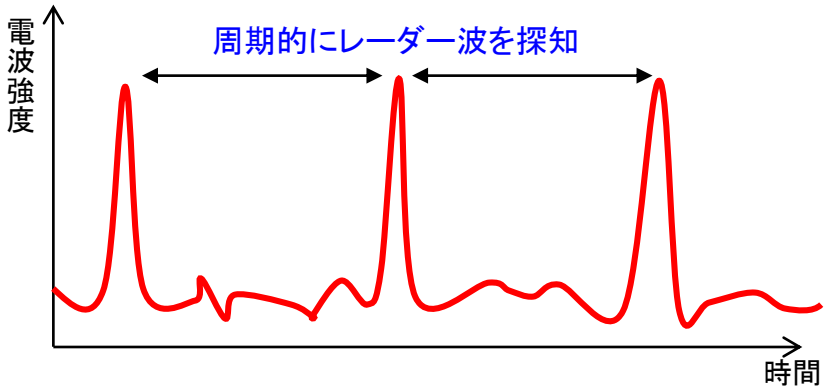
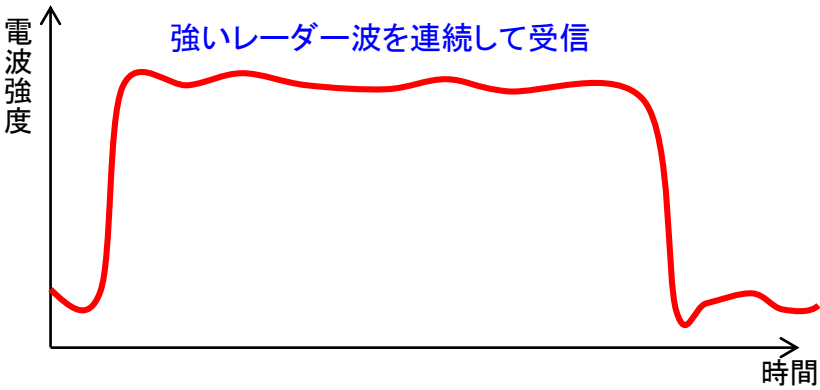


レーダーの種類と特徴

平成30年12月
防衛省

種別	捜索用レーダー	火器管制用レーダー
装備品の一例		
原理のイメージ		
受信波の特徴		

航空法規における船舶と航空機の離隔距離規定

航空法施行規則

(最低安全高度)

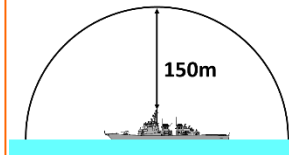
第七十四条 法第八十一条の規定による航空機の最低安全高度は、次のとおりとする。

一 有視界飛行方式により飛行する航空機にあつては、飛行中動力装置のみが停止した場合に地上又は水上の人又は物件に危険を及ぼすことなく着陸できる高度及び次の高度のうちいずれか高いもの

イ (略)

ロ 人又は家屋のない地域及び広い水面の上空にあつては、地上又は水上の人又は物件から**百五十メートル以上**の距離を保つて飛行することのできる高度

ハ (略)



国際民間航空条約第2付属書

第4章 有視界飛行規則

4.6 離陸又は着陸のため必要な場合を除き、又は関係主管機関から許可された場合を除き、下記の高さでVFR飛行を行ってはならない。

a) 都市又は集落の過密地上空、又は人の野外集会場上空では、航空機から半径600m以内の最も高い障害物から300m(1,000ft)未満の高さ。

b) 4.5a)に規定された場所以外では、地水面から**150m(500ft)未満の高さ**。

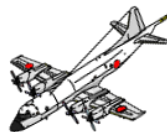
危険な飛行例

航空法第八十五条 航空機は、運航上の必要がないのに**低空で飛行**を行い、**高調音を発生**し、又は**急降下**し、その他他人に迷惑を及ぼすような方法で操縦してはならない。

低空で飛行



急降下飛行



高調音を発生する飛行

